

令和2年度 土浦協同病院附属看護専門学校 学校評価総括(自己点検・学校関係者評価)

1. 学校評価の目的

学校活動全般について自己点検・自己評価を行い、その結果に基づいて自己改革を行うとともに、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために行う。

2. 定義

「自己評価」とは学校教育法の定めにより、本校職員が自ら学校の状況について評価を行うことをいう。

「学校関係者評価」とは、同法より「自己評価」の結果を看護学校運営会議において外部委員及び学校関係者において、審議・決定された評価をいう。

3. 教育目的

看護師として必要な知識及び技術を教授し、農協理念に基づき社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

4. 本年度の重点課題

- 1) 専門職業人の資質と意欲を備えた学生確保と育成
- 2) 基礎看護技術と倫理的態度の育成
- 3) 教員の資質向上
- 4) 国家試験合格率100%の維持に向けた試験対策の強化
- 5) 新たな教育カリキュラムの構築

5. 評価日及び評価者

自己点検：教職員全員 令和3年3月17日実施

学校関係者評価：学校関係者 令和3年10月13日実施

茨城県厚生農業協同組合連合会	理事長	酒井義法
同	副理事長	渡邊宗章
同	理事	山田保典
同	看護統轄管理部長	宮本留美子
同	看護統轄管理副部長	佐藤稔
総合病院土浦協同病院	副院長兼看護部長	宮本佳代子

(*敬称略)

6. 評価項目と達成状況

評価基準 3:よく当てはまる 2:大体当てはまる 1:当てはまらない

項目	自己点検	学校関係者評価・意見	
1)教育理念・教育目標	3	3	
2)教育目標	2	2	卒後の継続教育について、新カリキュラムに明記すること。
3)教育課程経営	2	2	
4)教授・学習・評価過程	3	3	
5)経営・管理過程	2	2	財政基盤・確保に関わる意識の更なる向上を。
6)入学	3	3	
7)卒業・就職・進学	2	2	今後活かすためにも卒業生の情報収集・分析をすること。
8)地域社会・国際交流	2	2	
9)研究	2	2	研究など活発になることで、卒業生の刺激になる。
10)その他			来年も100%合格を目指して頑張してほしい。 コロナ禍の制約の中たいへんだが、頑張り期待する。

*自己点検の評価内容と結果は別欄に記載

7. 評価まとめ・今後の課題

自己点検と学校関係者評価が合致しており、2)3)5)7)8)9)の課題は明確である。

2)教育目標

・卒後の継続教育の考え方を、明記していない。新カリキュラム改正において明確にする。

3)教育課程経営

・学校運営指導調査でも指摘あり。新カリキュラム改正において1単位時間数の是正を図る。

5)経営・管理過程

・経営管理に関心がもてるよう学習会や財政基盤に対し周知と意見交換が出来る環境を設定していく。

7)卒業・就職・進学

・進路・就職の専属担当を設置し学生支援が可能となった。今後、就職先での評価を把握し教育改善を図る。

8)地域社会・国際交流

・R2年度はコロナウイルス感染予防対策のため、地域社会への貢献が出来なかった。

9)研究

・感染管理上の問題から臨地実習ができない状況に対し、学内実習の取り組みが可能となるよう研究活動をする事ができた。
今後は更なる研究活動を実践化できるよう体制を整備していく。